



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年9月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 仁科 善生 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の業績（2020年5月16日～2020年8月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	4,351	△11.4	224	2.2	239	1.6	91	△21.9
2020年5月期第1四半期	4,914	3.8	219	6.9	235	7.0	117	△8.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	6.70	6.70
2020年5月期第1四半期	8.59	8.59

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	13,287	6,614	49.7	482.82
2020年5月期	8,751	6,521	74.5	476.05

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 6,609百万円 2020年5月期 6,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2021年5月期	ー				
2021年5月期（予想）		0.00	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 2021年5月期の配当予想につきましては、現時点では未定のため「ー」と表示しております。

3. 2021年5月期の業績予想（2020年5月16日～2021年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,602	△11.4	247	△1.7	265	△7.6	108	△25.3	7.93
通期	17,807	△1.5	306	328.0	329	136.6	149	ー	10.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

(注) 業績予想の修正については、本日（2020年9月15日）に公表いたしました「2021年5月期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年5月期1Q	14,518,000株	2020年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	819,210株	2020年5月期	819,210株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年5月期1Q	13,698,790株	2020年5月期1Q	13,669,290株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の抑制により、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。5月25日の緊急事態宣言解除を機に個人消費は回復しつつあるものの、国内の感染者数が再度増加傾向にあるなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

外食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お客様の生活様式や外食に期待するサービス内容が激変しており、店内飲食が減少する一方で、人との接触機会の少ないテイクアウトやデリバリーサービスなどが増加する等、競争環境がコロナ禍前から激変しております。

このような状況において、当社は、店内でのフィジカルディスタンスの確保等、お客様及び従業員の安心・安全を最優先にした「感染しない、させない営業」の徹底と、『お店との繋がり』が実感できる「ウィズ・コロナ時代の銚子丸劇場」への進化に邁進し、既存客の来店動機の抑制要因の軽減に努めました。また、アフター・コロナ時代を見据えた収益モデルへの移行を積極的に推進するために、テイクアウトメニューの充実を図るとともに、2020年5月13日に15店舗で導入を開始した「出前館」によるデリバリーサービスの強化・拡充(当第1四半期会計期間末62店舗で導入済)に続き、同年7月22日には「ウーバーイーツ」を導入(当第1四半期会計期間末65店舗で導入済)し、デリバリー需要の拡大を見据えた営業体制の充実を図りました。

店舗開発につきましては、当第1四半期会計期間における新規出店及び退店はなく、この結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は93店舗となっております。

一方で、顧客利便性の向上を目的として、2019年5月末LINE Pay導入以降、2020年4月のPayPay導入に至るまで、積極的にQRコード決済(非接触型決済)の拡充を推進してきたことが、結果としてウィズ・コロナ時代に求められる接触機会の少ない店舗運営体制の構築に大きく寄与しました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は43億51百万円(前期比11.4%減)となりました。

利益面については、売上高の大幅な減少に応じた人件費の抑制及び役員報酬の減額、広告宣伝及び販売促進費の抑制、並びに地代家賃の減額等に注力することで、売上総利益の減少を上回る経費の削減を達成した結果、営業利益は2億24百万円(同2.2%増)、経常利益2億39百万円(同1.6%増)となりました。なお、採算が悪化した店舗に係る減損損失43百万円及び店舗閉鎖損失引当金繰入額51百万円を計上したこと等により、四半期純利益は91百万円(同21.9%減)となりました。

(注) 金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ45億35百万円増加し、132億87百万円(前事業年度末比51.8%増)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ45億81百万円増加し、104億86百万円(同77.6%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加39億42百万円及び売掛金の増加5億4百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ46百万円減少し、28億1百万円(同1.6%減)となりました。これは、主に建物(純額)の減少18百万円及びその他(純額)の減少34百万円によるものです。

(負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ44億42百万円増加し、66億73百万円(前事業年度末比199.2%増)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ44億52百万円増加し、63億円(同241.0%増)となりました。主な内訳は、短期借入金の増加9億28百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加30億円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、3億72百万円(同2.6%減)となりました。主な内訳は資産除去債務の減少6百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ92百万円増加し、66億14百万円(同1.4%増)となりました。主な内訳は、利益剰余金の増加であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、2021年5月期第1四半期累計期間の実績が確定し、新型コロナウイルス感染症拡大の短期的な影響をある程度予想できる環境になったと判断されることから、現時点で入手可能な情報等に基づいて算定した業績予想を公表いたします。

詳細は、本日(2020年9月15日)公表の「2021年5月期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点において、期末配当予想は引き続き未定とさせていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第1四半期会計期間 (2020年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,245,531	9,187,878
売掛金	227,536	731,628
原材料及び貯蔵品	136,155	151,082
その他	294,998	415,417
流動資産合計	5,904,222	10,486,007
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	776,748	758,197
その他(純額)	545,051	511,003
有形固定資産合計	1,321,800	1,269,201
無形固定資産	11,406	25,914
投資その他の資産		
敷金及び保証金	883,067	881,509
その他	632,579	625,927
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,514,568	1,506,358
固定資産合計	2,847,775	2,801,473
資産合計	8,751,997	13,287,481
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,779	717,613
短期借入金	144,000	1,072,000
1年内返済予定の長期借入金	—	3,000,000
未払金	800,923	1,062,681
未払法人税等	45,088	73,254
賞与引当金	106,785	81,263
株主優待引当金	33,589	26,993
店舗閉鎖損失引当金	2,000	53,944
その他	95,571	212,653
流動負債合計	1,847,738	6,300,403
固定負債		
資産除去債務	202,498	196,005
その他	180,480	176,958
固定負債合計	382,978	372,963
負債合計	2,230,717	6,673,366

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年5月15日)	当第1四半期会計期間 (2020年8月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	253,729	253,729
利益剰余金	6,645,754	6,737,521
自己株式	△697,438	△697,438
株主資本合計	6,517,995	6,609,763
新株予約権	3,284	4,351
純資産合計	6,521,280	6,614,114
負債純資産合計	8,751,997	13,287,481

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年5月16日 至 2019年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年5月16日 至 2020年8月15日)
売上高	4,914,164	4,351,669
売上原価	1,984,021	1,753,314
売上総利益	2,930,142	2,598,354
販売費及び一般管理費	2,710,852	2,374,173
営業利益	219,289	224,180
営業外収益		
受取利息	455	394
協賛金収入	10,840	12,777
その他	5,340	2,561
営業外収益合計	16,636	15,733
営業外費用		
支払利息	247	690
現金過不足	217	—
その他	—	2
営業外費用合計	465	692
経常利益	235,460	239,222
特別利益		
固定資産売却益	34	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
減損損失	52,968	43,249
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	51,944
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	52,968	95,193
税引前四半期純利益	182,526	144,028
法人税等	65,053	52,260
四半期純利益	117,473	91,767

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。